

■令和6年度に向けた重点的検討課題（案）について

<重点的検討課題 事務局(案)>

継続的な検討課題及び委員指摘事項等への対応状況を踏まえ、「△」の状態のものを抽出

重点施策	R④の主な意見（PT・成長戦略会議等）	重点的検討課題 事務局案
【柱1】 県庁組織の活性化	<p>○R④PT委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の意識改革が大切 ・ 採用プロセスや評価の在り方、人事機能のグランドデザインが必要 <p>○R5.2発表「県庁活性化の取組み」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな「人材育成方針」の策定 	<p>◎多様な行政課題に対応できる人材の育成及び職員の意識改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 越境人材の育成や新庁内公募制度に挑戦する職員が一定数に留まる（庁内複業制度等応募実績18名、目標32名以上） ・ VUCA時代においてデザイン思考による施策立案が有効
【柱2】 県庁の働き方改革	<p>○R④成長戦略会議委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県庁ウェルビーイングモデル空間づくり <p>【◎安宅委員】 ・ ウェルビーイングな職場とか学校のモデルが本来必要。県庁行くとウェルビーイング感が漂っているモデル空間があると良い。人がインスパイアされる。 【◎高木委員】 ・ 県庁オフィスに魅力が無い。楽しい空間づくりが重要。</p> <p>○R4.10発表「県庁活性化方針」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 執務環境の整備など健康経営の推進 	<p>◎魅力的な執務環境整備などによる健康経営の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県職員の人材確保が困難 ・ 働き方改革のためには職場環境の改善が必要 ・ テレワークなど多様な働き方の推進
	<p>○R④PT委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子決裁の推進について継続的なウォッチや議論が必要 	<p>△生産性向上に向けた業務の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子決裁率73%（一部紙併用含む）（ペーパーレス化を更に進める必要） ・ 不断の無駄な業務の洗い出しが必要
【柱3】 デジタル技術を活用した住民サービスの向上・住民参加の推進（広報含む）	<p>○最終報告書（継続的な検討課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の広報マインドの醸成 ・ 県政情報へのアクセス環境 ・ 広報戦略の共有 <p>○R④PT委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報戦略の共有 ・ 広報サポート・研修強化 ・ 広報結果モニタリング ・ 広報改善への評価 ・ トップ自らの情報発信 	<p>◎戦略的・組織的な広報の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員一人ひとりがSNSを活用できるようになるなど「県の広報担当」としてのマインド醸成が必要 ・ 広報戦略を職員一人ひとりに浸透させることが必要
	<p>○R④PT委員意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民満足度や県民の来庁コストの減少などが大切 ・ オープンデータに関する教育現場や企業への普及啓発 <p>○R5.2発表「県庁活性化の取組み」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマート県庁の推進 	<p>△県民目線に立ったスマート県庁の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイナンバーカード交付率69.8%（目標は100%、一層の推進が必要） ・ 電子申請が可能な手続き数2,884件（目標5,300件、取組み強化が必要）